

ご自分や家族・友人のお酒の飲み方が気になる方、どなたでも歓迎

飲酒依存の 経緯と回復の道

男女で何が違う？



2018年

11月22日(木) 13:30~15:30

@矯風会館1階ホール (JR 大久保駅北口徒歩2分。裏面に地図)

かみや

なえこ

講演 紙谷 名枝子さん

ASK (アルコール薬物問題全国市民協会) 予防教育講師、日本学校教育相談学会認定カウンセラー。
(裏面にプロフィール)

体験談 断酒修養会メンバーほか

参加費無料

お問合せ：

電話 03-3361-0934(平日 9:30 ~ 17:00)

FAX 03-3361-1160

Eメール kyofukai-somu@festa.ocn.ne.jp

※申込み不要ですが、会場準備の都合上、前日までに矯風会のお問合せ電話番号にお知らせくださると助かります。

主催：一般財団法人日本禁酒同盟

公益財団法人日本キリスト教婦人矯風会

後援：一般財団法人 ウェルネスアカデミー

特定非営利活動法人 アスク



日本禁酒同盟と矯風会は、設立以来、酒害の啓発に取り組んできました。

お酒による病気の発症、家庭内暴力、貧困、乳幼児への影響などなど。

しかし、日本の文化の一環としてかつては冠婚葬祭での飲酒でしたが、飲酒機会が多様化し、アルコール飲料が入手しやすくなったこと、種類も増えました。

テレビでの宣伝や新聞への広告に、女性飲酒像が多くみられるようになりました。

久里浜医療センターの樋口進医師らの2009年の報告でも、20代前半の女性の現在飲酒率は男性を上回っています。

女性の飲酒は、

1. 血中アルコール濃度が高くなりやすい
2. 乳がんや胎児性アルコール症候群のリスクを増大させる
3. 早期に肝硬変やアルコール依存症になりやすい

などの問題が 専門家の間で知られています。

男女問わず、身近にあるアルコールの具体的な危険性を知っていただき、依存症の早期発見、予防にこのセミナーが役に立つことを望んでおります。



講師紹介 紙谷 名枝子 (かみや なえこ)

ASK(アルコール薬物問題全国市民協会) 予防教育講師、日本学校教育相談学会認定カウンセラー。

一般財団法人ウエルネスアカデミー評議員。看護師、保健師。

33年間にわたり、公立小学校と公立高等学校で養護教諭を務めてきた。

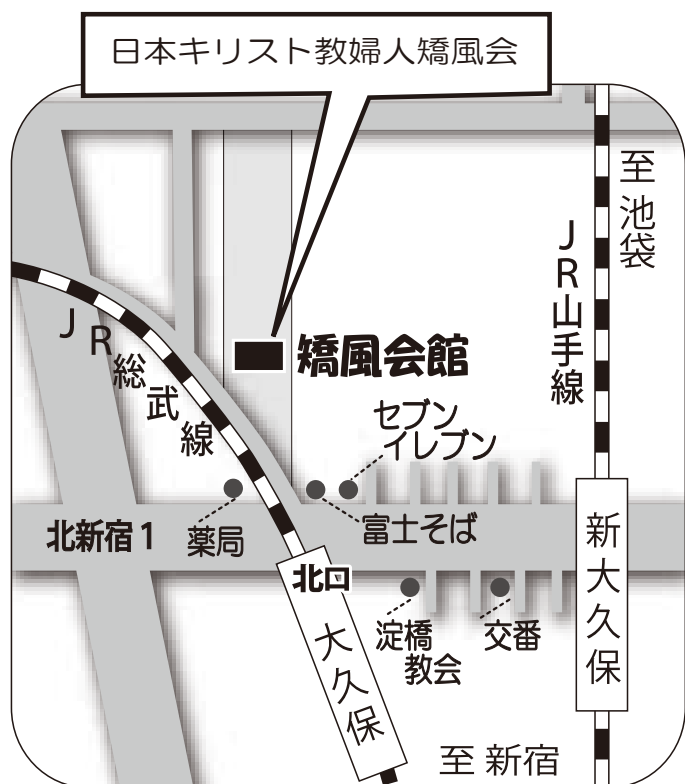
現在は公立高等学校のスクールカウンセラーを務める。

社会科教員免許もち、虐待やアディクション問題への援助に温かい視線を注ぐなど、活動や関心の幅が広い。セルフケアのために始めたアートセラピーのファシリテーターでもある。

モットーは「どんなに辛いことも人生に起きることで無駄なことは一つもない」。

家庭内の問題で苦しむ子どもがいなくなるのが夢。楽しみは、シャンソンを歌うこと、服を作ること。

会場地図



主催団体紹介

● 一般財団法人日本禁酒同盟

日本禁酒同盟は、1887(明治20)年、東京・横浜の禁酒会の活動を母体として発足。一貫して酒害の啓発と予防教育に取り組み、アルコール依存症当事者たちの例会〈断酒修養会〉とも連携してきた。2012年に一般財団法人に移行。断酒修養会メンバーの体験談をまとめた『初の断酒会を拓き断酒修養会を営む』を発行(2016年)。

武蔵野市に資料館を有す。

東京都武蔵野市西久保1丁目8-2 電話0422-54-8555

● 公益財団法人日本キリスト教婦人矯風会

米国の禁酒運動に端を発すが、女性の地位向上をめざす矯風会という名称で1886年に発足。創設期のメンバーは、禁酒同盟のあゆみに登場する者多数あり。

2012年に公益移行後は、女性の人権と福祉を活動の柱として、女性と子どもが安全に生きられる社会の実現という視点で、アディクション問題にも取り組んでいる。

DV女性のシェルターを都内某所で運営。

東京都新宿区百人町2-23-5